

1 本園の教育目標

「太陽の子ども 竹の子ども」
 ・明るくのびのびとした子ども
 ・思いやりのある子ども
 ・元気にすくすくのびる子ども

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

①安全管理体制の見直し
 ②職員の資質向上について
 努力目標「“いっしょ”って楽しいな!~楽しい運動遊びや仲間とつながる遊びを考える~」
 ③特別支援教育の充実を図る

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
安全管理体制について	B	アレルギー対応の再確認やエピペン対応の園内研修を行ったことで、全職員の危機管理意識の向上を図ることができた。また緊急時における対応や教師間の連携の見直しを行った。
職員の資質向上について	B	園内研修を計画的に実施し、担任が互いに保育を見合える体制を整え、研究保育を行った。指導助言や研究討議で学んだことを保育に生かし、子供の成長に繋げることができた。
特別支援教育の充実	B	巡回相談指導で学んだことを活かし、課題や支援方法を明確にしながらか職員間で共通理解に努めた。また保護者の気持ちに寄り添いながら関係機関との連携も図ることができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園内研修を計画的に実施し、幼児教育アドバイザーからの指導や他の教師の研究保育を見る機会を作ることで、職員の資質向上に繋がった。また、子供達の実態に即したねらいをたて、保育教諭が意識して運動遊びや仲間とつながる遊びを取り入れた保育を進めることができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理体制の見直し	緊急時における対応の見直しや危機意識をもって取り組めるよう、教育時間後の保育も含め、職員間で連携が図れるようにする。
教師の資質向上	子供の実態に即した保育計画や栽培計画を立てたり、教材研究や指導方法など、職員間で意見交流を行ったりし資質向上を図る。
特別支援教育の充実を図る	幼児理解を深め、子供の姿のとらえ方や手立て、職員の援助の仕方など、共通理解を図り支援をしていくようにする。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である